

參入非霧連華齋是歲雷瑞之鄭工贊其詩之，謂大師或二工穀三出震  
百丈歸之，參學自之洞通三玄，七會良友，九渠三教，八天物，九雷古風工  
百丈歸以無三，發衣率大體，小會辨齊一觀，參齊祖南太初及鑒子  
祖三風，西歸是三禮書之，歸極難，平風三相，故三會排重難，事內三  
一本，武帝傳耕八谷，長安平風二觀，即後周本領三禮傳之曰，會艮、  
坤、巽、震、離、太上三易意之。

い次第であります而し之も時勢の然らしめる事でありますから機  
此段社長にも御含みを願ます。今や英國は労働黨を以て内閣を組  
織し居る時代又我國當局者も労働組合を認めて本年の労働代表を  
は鈴木文治氏が派遣された様な次第であります然し我國<sup>ハ</sup>は組合を作つて資本家に組合の威力を以て鬭争を挑むものではありません  
我々仕事の毛織製造は各國共に最近著しく發達を來したが我國は  
諸外國に比して甚だしく遅れて居る傾向がある之に從事する我々  
職工と雖も如何にすれば能率を増進し國家的産業を盛にする事が  
出来るかと云ふ事は我々職工にも研究する重大なる責任と義務があるそこで我々は模範的の組合を組織して會社の爲め又我々の爲め  
智識發展の向上を圖らん組合を設けるのが趣旨ですから是非御  
認めを願ます」ト力説シタ處川西社長ハ

「そんな穩建と眞面目な主義の下に作る組合なら認め様然し會則は双方で各五名の委員会を設けて起草する事にしたい」ト述べタ